

2020年3月期決算概要



日進工具株式会社

2020年5月15日
(証券コード6157)

目次

1. 2020年3月期の業績	P. 3 . . .	決算の概要
	P. 4 . . .	営業利益の減益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	業績推移
<hr/>		
2. 2021年3月期の業績予想 (未定)	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	設備投資と減価償却費のトレンド
	P. 16 . . .	配当予想
<hr/>		
参考資料	P. 18 . . .	日進工具の概要
	P. 19 . . .	沿革・業績推移
	P. 20 . . .	当社製品とその市場について
	P. 30 . . .	コーポレートガバナンスの体制
	P. 32 . . .	株式の状況
	P. 33 . . .	主要データ推移・投資指標
	P. 35 . . .	株価推移とバリュエーション
P. 36 . . .	I R サイトのご案内	

2020年3月期の業績



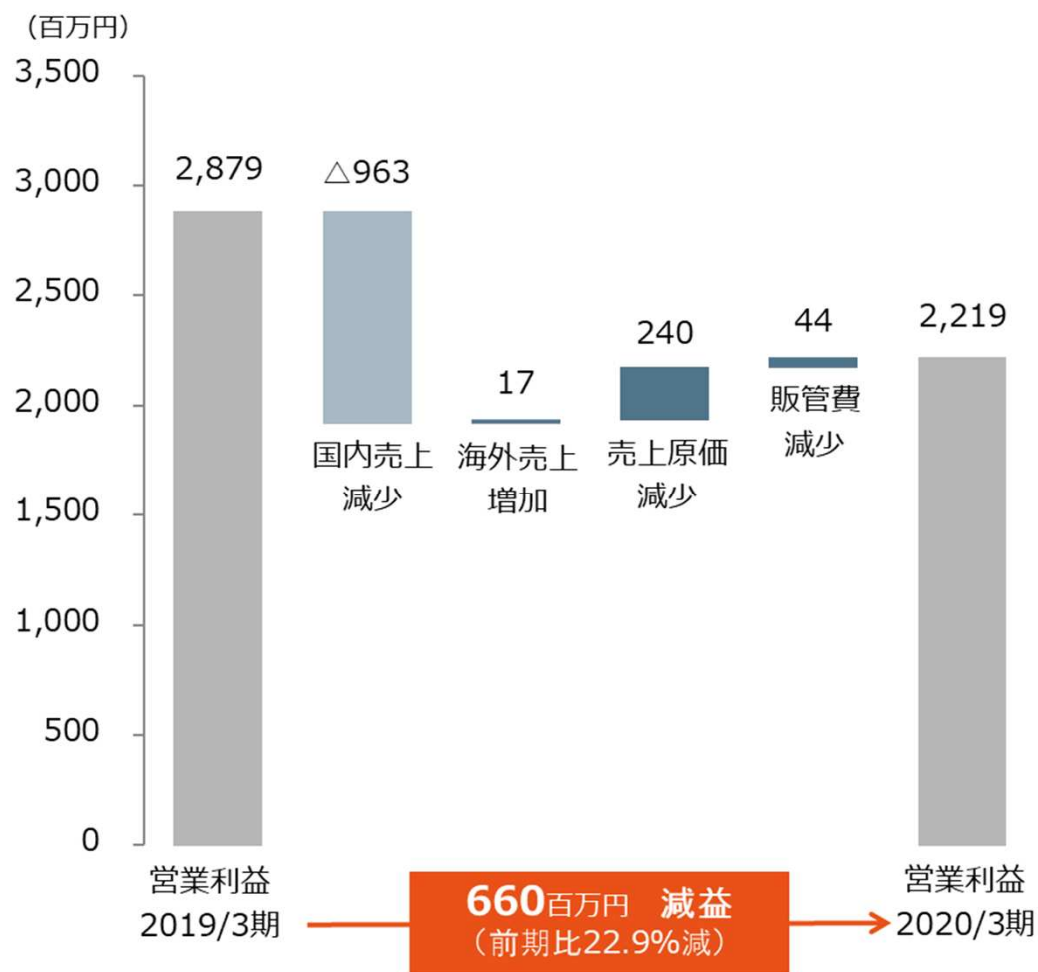
決算の概要

昨年10月に公表した業績予想通りではあったが
需要の減少から前期比では9.0%の減収、22.9%の減益

(単位：百万円)	通期予想	2020年3月期 通期実績	予想対比
売上高	9,590	9,531	-59
前期比	-8.5%	-9.0%	-0.6%
営業利益	2,150	2,219	69
前期比	-25.3%	-22.9%	+3.2%
経常利益	2,160	2,231	71
前期比	-25.4%	-22.9%	+3.3%
当期純利益	1,460	1,545	85
前期比	-25.9%	-21.6%	+5.9%

- 米中貿易摩擦の激化や海外経済の減速に加え、新型コロナウイルス拡大に伴うサプライチェーンの寸断等から、当社製品を使用する自動車関連や電子部品・デバイス関連も影響を受け、工具需要が減少。連結売上高はほぼ予想通りではあったものの、前期に比べ9.0%少ない9,531百万円に止まった。
- 連結経常利益は2,231百万円と予想を3.3%上回ったが、前期比では22.9%の減少。売上高の低下により売上総利益が同11.9%減少した一方、市場拡大のための先行投資として今年1月に開催した“NSプライベートショー2020”もあり販管費の減少が同1.5%に止まった。
- 売上高経常利益率は23.4%となり、前期の水準を4.2ポイント下回ったものの、20%台を維持。

営業利益の減益要因



- 売上高は、国内が前期比963百万円、12.7%減少した一方、海外は同17百万円、0.6%の増加となり、売上高全体では同945百万円、9.0%の減少となった。
- 製造費用では、生産量の減少により原材料費が同13.7%減、外注加工費が同18.9%減と変動費は減少したものの、労務費は同3.1%の減少に止まり、製造経費は減価償却費の増加等から同2.6%の増加となった。これらの結果、売上原価は同240百万円、同5.3%の減少に止まり、売上高の減少率を下回った。
- 販管費は、賞与引当金の減少等から人件費が同2.0%減少、一般経費は販売促進費や広告宣伝費が減少した一方、プライベートショーの開催もあり展示会費が増加したこと等から同0.9%の減少に止まった。全体では同44百万円、1.5%の減少。
- これらの結果、営業利益は同660百万円、22.9%減少し、売上高営業利益率は23.3%と前期の水準を4.2ポイント下回った。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前期比
売上高	10,476	9,531	-9.0%
売上総利益	5,929	5,224	-11.9%
対売上高比率	56.6%	54.8%	
販管費	3,049	3,005	-1.5%
対売上高比率	29.1%	31.5%	
営業利益	2,879	2,219	-22.9%
対売上高比率	27.5%	23.3%	
経常利益	2,894	2,231	-22.9%
対売上高比率	27.6%	23.4%	
当期純利益	1,970	1,545	-21.6%
対売上高比率	18.8%	16.2%	
設備投資額	1,268	1,755	+38.4%
減価償却費	629	698	+11.0%
従業員数	343人	338人	-1.5%

- 売上高は9,531百万円と前期比9.0%の減少。自動車部品等や電子・デバイス関連の減速が工具需要に影響を及ぼした。
- 売上高の減少により、売上総利益は5,224百万円と同11.9%の減少となり、売上総利益率も54.8%と同1.8ポイント低下。
- 販管費は人件費が同2.0%減、一般管理費は同0.9%の減少に止まり、全体では同1.5%の減少。売上高の減少が大きく、売上高販管費比率は31.5%と同2.4ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同22.9%減少の2,219百万円、売上高営業利益率も23.3%と4.2ポイント低下。
- 設備投資額は、新開発センターや子会社新工場の竣工等もあり、38.4%の増加となる1,755百万円。減価償却費は、機械設備の新規導入等により11.0%増加の698百万円。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2019年 3月期末	構成比	2020年 3月期末	構成比	前期末比
(資産の部)					
流動資産	9,932	64.6%	9,555	59.7%	-3.8%
現金及び預金	6,209	40.4%	5,784	36.1%	-6.8%
受取手形及び売掛金	1,531	10.0%	1,366	8.5%	-10.8%
棚卸資産	2,056	13.4%	2,201	13.7%	+7.1%
固定資産	5,449	35.4%	6,462	40.3%	+18.6%
有形固定資産	4,685	30.5%	5,748	35.9%	+22.7%
無形固定資産	84	0.5%	52	0.3%	-37.7%
投資その他の資産	679	4.4%	661	4.1%	-2.6%
資産合計	15,381	100.0%	16,017	100.0%	+4.1%
(負債の部)					
流動負債	1,643	10.7%	1,265	7.9%	-23.0%
買掛金	277	1.8%	208	1.3%	-25.0%
固定負債	275	1.8%	254	1.6%	-7.6%
負債合計	1,919	12.5%	1,519	9.5%	-20.8%
(純資産の部)					
自己資本合計	13,397	87.1%	14,374	89.7%	+7.3%
純資産合計	13,461	87.5%	14,498	90.5%	+7.7%
負債・純資産合計	15,381	100.0%	16,017	100.0%	+4.1%

流動資産

固定資産取得による現預金の減少等により、前期末比3.8%減少。

固定資産

新開発センターや子会社工場の竣工等から、同18.6%増加。

負債

買掛金、未払法人税等、賞与引当金の減少等により、同20.8%の減少。

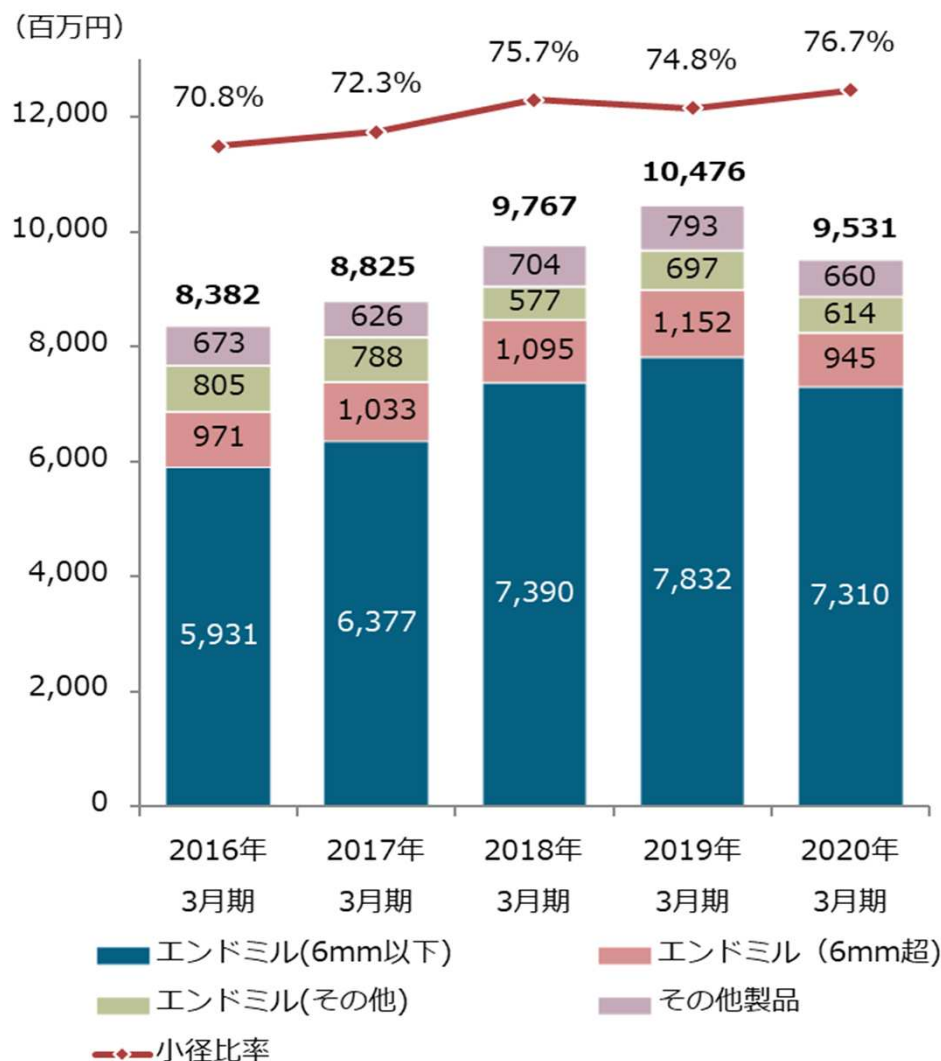
純資産

利益剰余金の増加等から、同7.7%増加、負債の減少もあり自己資本比率は89.7%と2.6ポイント上昇。

業績推移（売上高の推移）

製品別）

製品別売上高と小径比率の推移



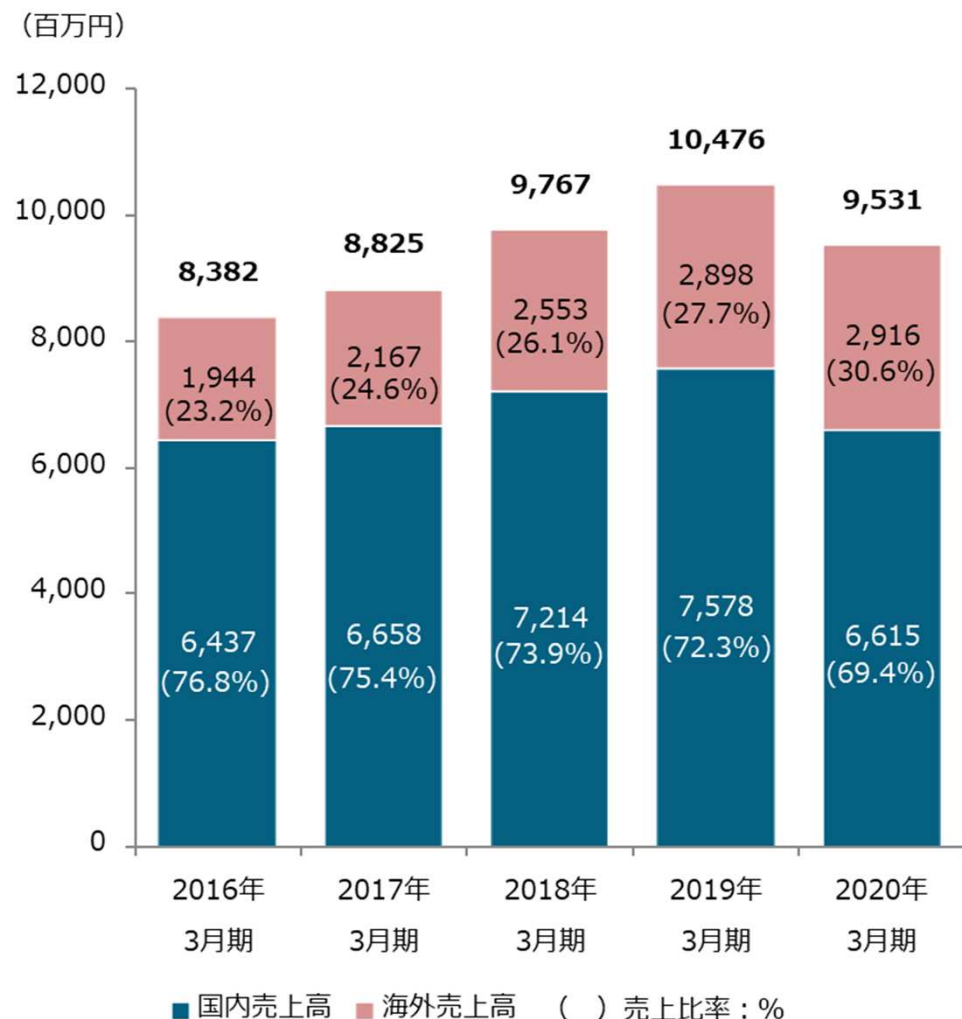
自動車関連では、消費増税に絡む反動減から、暦年ベースでの国内新車販売が3年ぶりに前年比マイナスとなったほか、最大の市場である中国でも大きく減少。半導体関連では、秋口に製造装置関連の一部に動きがみられたものの、本格的な動きにはならず、その他電子部品・デバイス関連も、スマートフォンに搭載されるカメラの数が増えるなどプラス面もあったが、全体としては弱い動きとなり、工具需要も減少傾向での推移となった。また年明け以降は新型コロナウイルスによるサプライチェーン寸断の影響も大きかった。

主力のエンドミル（6mm以下）は前期比6.7%減、一昨年秋に値上げを行ったエンドミル（6mm超）は同18.0%減と大きく減少した。また、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）も同11.9%の減少、工具ケース等のその他も工具需要全般の低迷から同16.8%減となり、特にエンドミル（6mm超）とその他が厳しい状況であった。小径比率は小径以外の落ち込みが大きかったため相対的に上昇し、前期比1.9ポイントアップの76.7%。

業績推移（売上高の推移）

国内・海外）

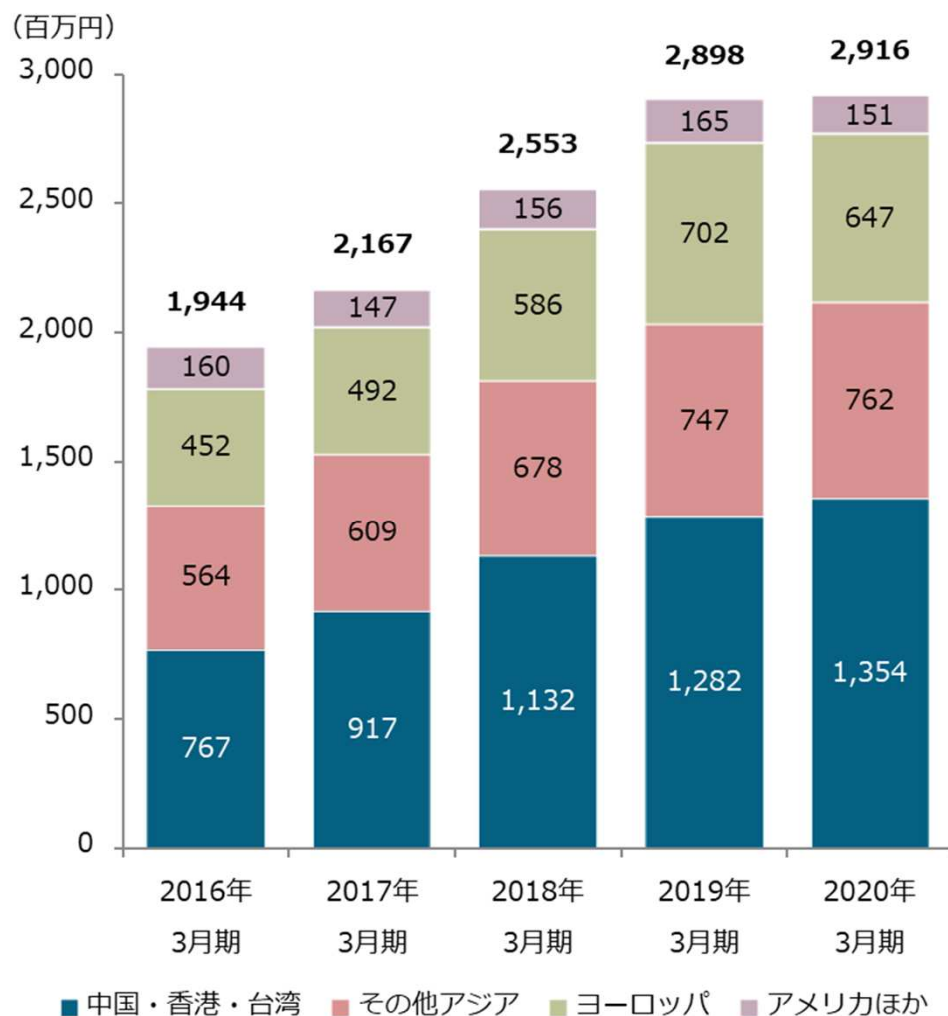
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前期の水準から963百万円、12.7%減少し6,615百万円、一方海外売上高は前期比17百万円、0.6%増加の2,916百万円であった。
- 海外売上高は年度前半にスマートフォンへの搭載カメラ数の増加等で中国向けが好調であったこと等により、僅かだが過去最高を更新。国内売上高の減少もあり、海外売上高比率は2.9ポイント上昇の30.6%と初めて通期で3割を超えた。

業績推移（売上高の推移 海外地域別）

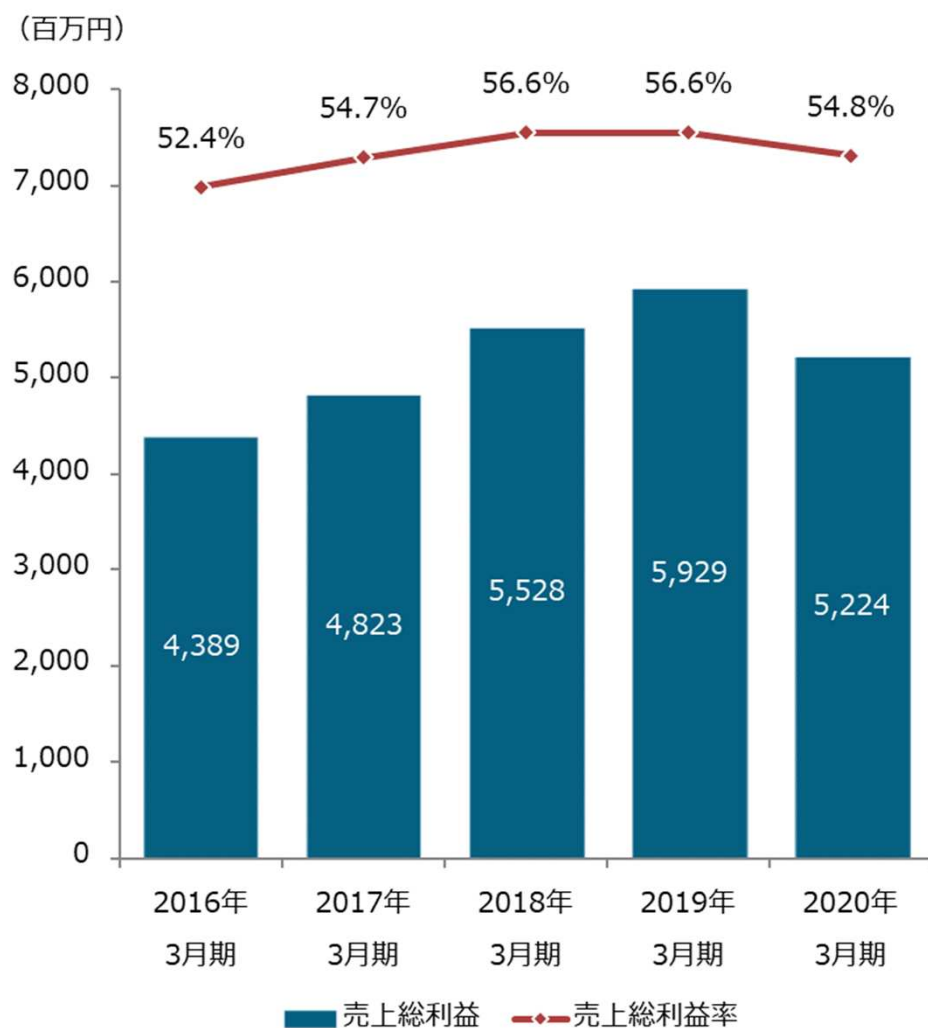
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前期比5.6%増加の1,354百万円、スマートフォンに搭載されるカメラ数が増えた影響等もあり、第2四半期に大きく伸びた。なお中国向けの販売を担う子会社日進工具香港（12月決算）の連結が1月-12月分となることから、新型コロナウイルスの影響が拡大した本年1月-3月の中国向け数値は含まれていない。
- その他アジアは同2.0%増加の762百万円。第4四半期は前年同期比マイナスとなったが、年度前半の好調により過去最高を更新。
- ヨーロッパは同7.8%減少の647百万円、アメリカ他は同8.5%減少の151百万円に止まった。
- 海外売上高に占める各地域の比率は、中国・香港・台湾が46.4%と前期に比べ2.1ポイント上昇したほか、その他アジアが0.4ポイント上昇の26.2%。一方ヨーロッパは2.0ポイント低下し22.2%、アメリカ他は5.2%と低い水準に止まっており、開拓が進んでいない状況となっている。

業績推移（売上総利益の推移）

売上総利益と売上総利益率の推移



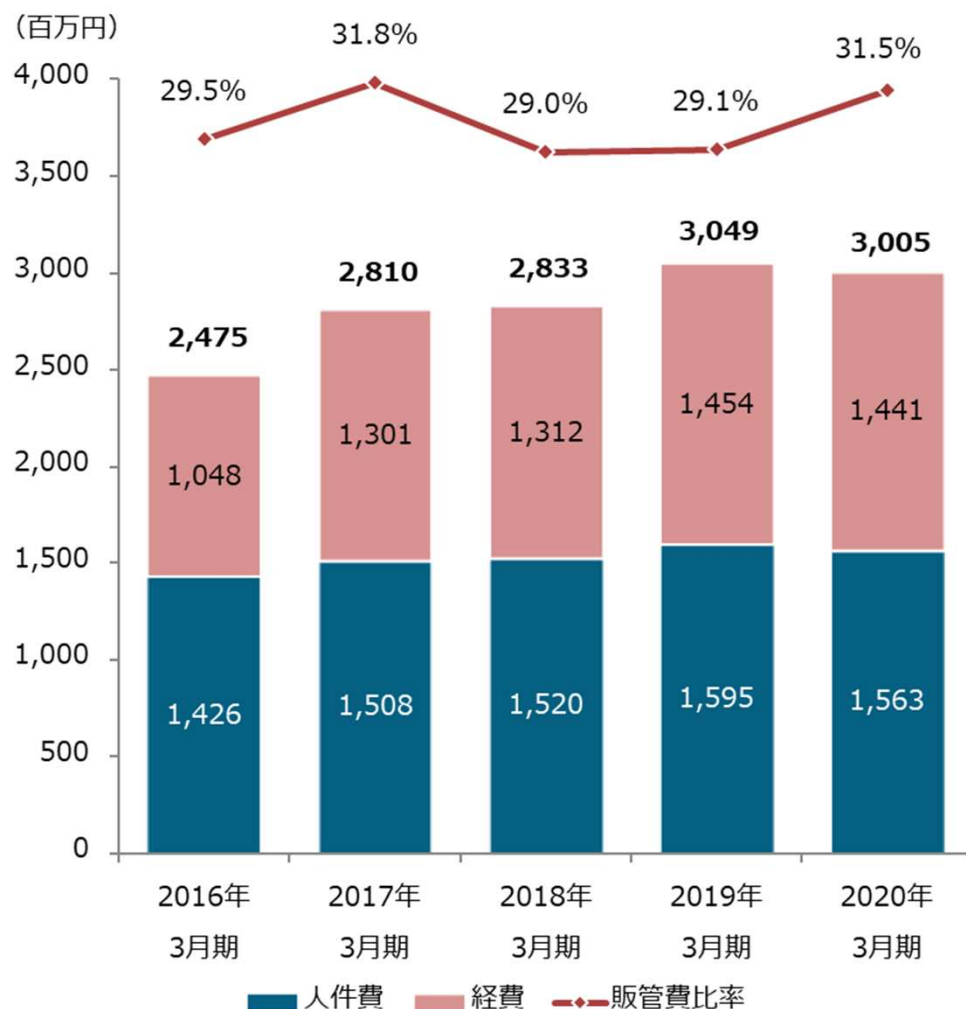
- 売上高の減少により前期に比べ生産量を抑えたことから、原材料費が前期比13.7%減、外注加工費が同18.9%減と変動費は減少したものの、労務費は同3.1%の減少に止まり、製造経費も減価償却費の増加等から同2.6%の増加となった。これらの結果、売上原価は4,306百万円と同240百万円、5.3%の減少に止まった。
- これにより売上総利益は同705百万円、11.9%減少の5,224百万円、売上総利益率も54.8%と同1.8ポイント低下した。

(参考) 日進工具単体の売上総利益率の推移



業績推移（販管費の推移）

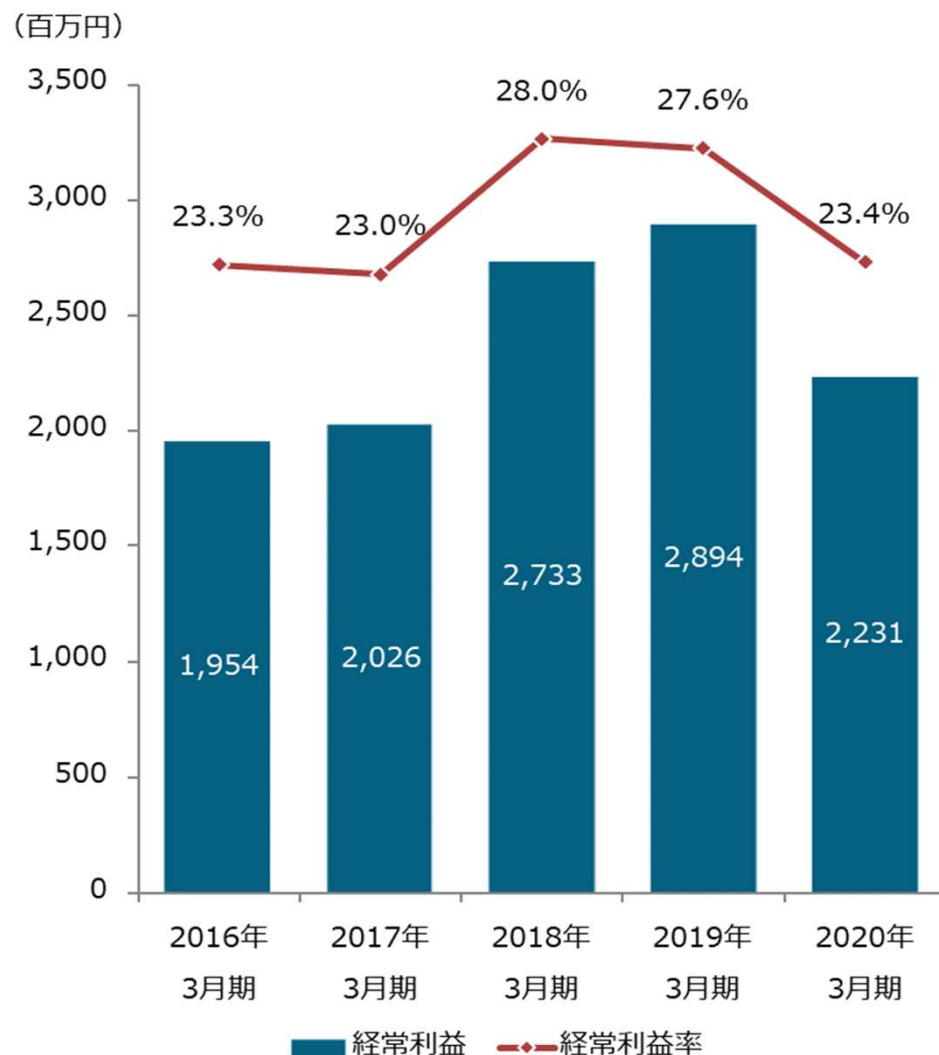
販管費と販管費比率の推移



- 人件費は、減益に伴い賞与や賞与引当金繰入が減少したこと等から、前期から2.0%減少の1,563百万円。
- 経費は、販促施策の一部変更やブランディング施策の縮小等により、販売促進費や広告宣伝費が減少した一方、12年ぶりとなったNSプライベートショーの開催や一昨年秋の本社移転によって展示会費や賃借費が上昇したほか、新製品強化による研究開発費の増加等もあり前期比0.9%の減少に止まった。
- 販管費全体では同1.5%減少の3,005百万円。売上高販管費比率は、販管費が微減に止まる一方、売上高が同9.0%減少したため、31.5%と前期に比べ2.4ポイントの上昇となった。

業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 前期比9.0%の減収となったことに加え、減産による影響もあり売上総利益が同11.9%減少、また販管費の減少が1.5%に止まったため、営業利益は2,219百万円と同22.9%減少。
- 営業外損益では、作業くず売却や受取配当金による収益21百万円と為替による差損8百万円が発生し、経常利益は2,231百万円と同22.9%の減益。
- 売上高経常利益率は23.4%と前期に比べ4.2ポイント低下した。

2021年3月期の業績予想（未定）



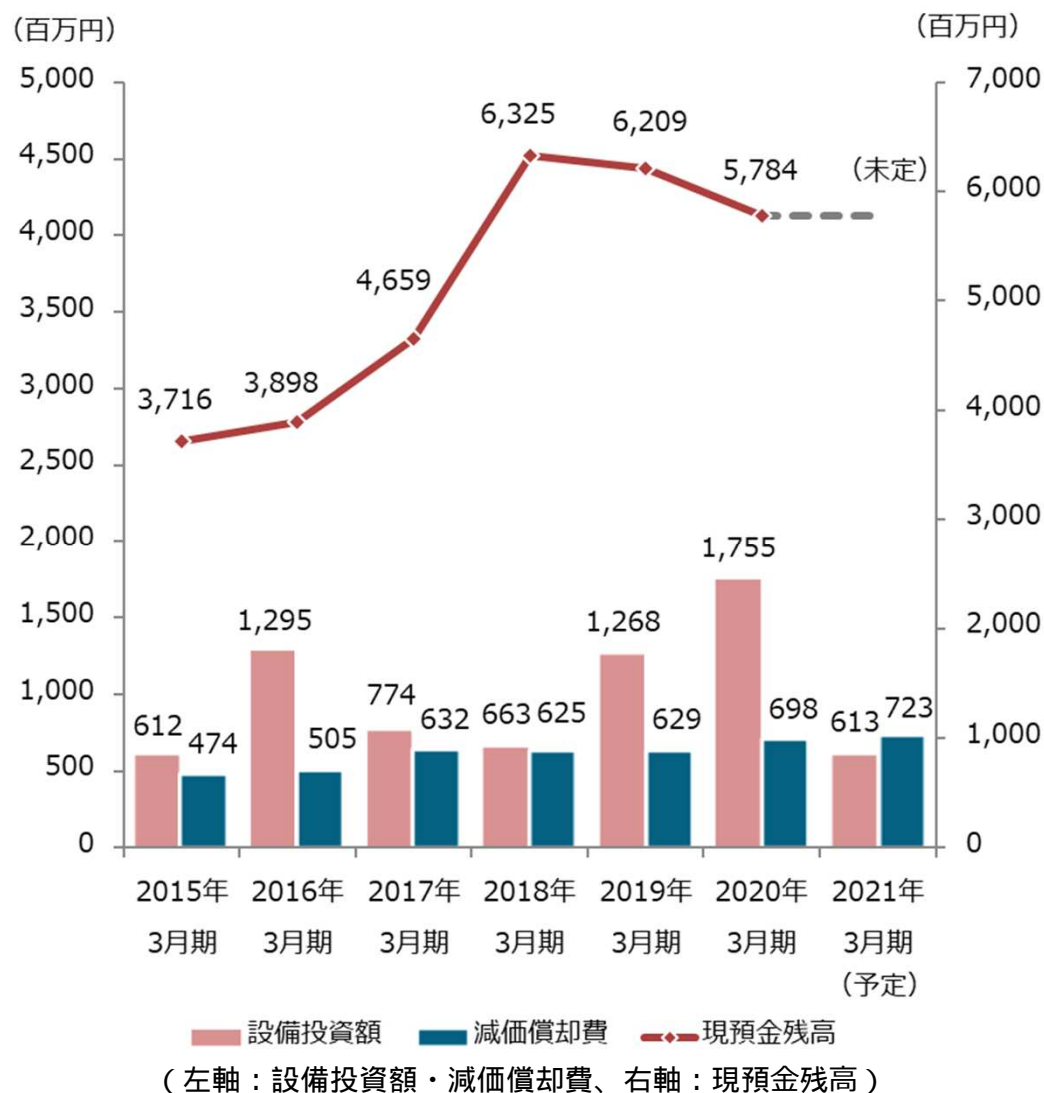
業績予想

(単位：百万円)	2020年3月期	2021年3月期	前期比
	通期実績	通期予想	増減率
売上高	9,531	-	-
営業利益	2,219	-	-
経常利益	2,231	-	-
当期純利益	1,545	-	-
設備投資額	1,755	613	-65.0%
減価償却費	698	723	+3.5%
EPS (円)	123.62	-	-
1株当たり配当金 (円)	45.00	-	-

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、経済情勢は当面厳しい状況が続くと想定される。特に年度前半は自動車関連を始め、多くの製造業で生産が大幅に減少するとみられ、工具需要も低迷すると想定される。同感染症の終息にともない徐々に回復するとみられるが、現時点で終息時期の見通しは立っておらず、合理的な業績見通しを示すことが困難であるため、現時点における業績予想は未定。
- 設備投資は製品品質や生産効率の向上を図る機械設備の導入が中心。20年3月期は新開発センターの竣工等から多額となったが、21年3月期はほぼ例年の水準となる見込み。なお当社では、毎年一定程度の設備投資を継続することで競争力を確保する方針としており、市況が厳しい状況ではあるが予定の設備投資を実施する方向。
- 業績予想が未定のため1株当たり配当金も未定。

設備投資と減価償却費のトレンド

設備投資、減価償却費及び現預金残高の推移



増減要因

2018年3月期

設備投資は機械設備を中心に663百万円と計画を若干下回り、減価償却費も微減となった。

2019年3月期

継続的な生産設備の拡充のほか、新開発センター着工による建設仮勘定により増加。

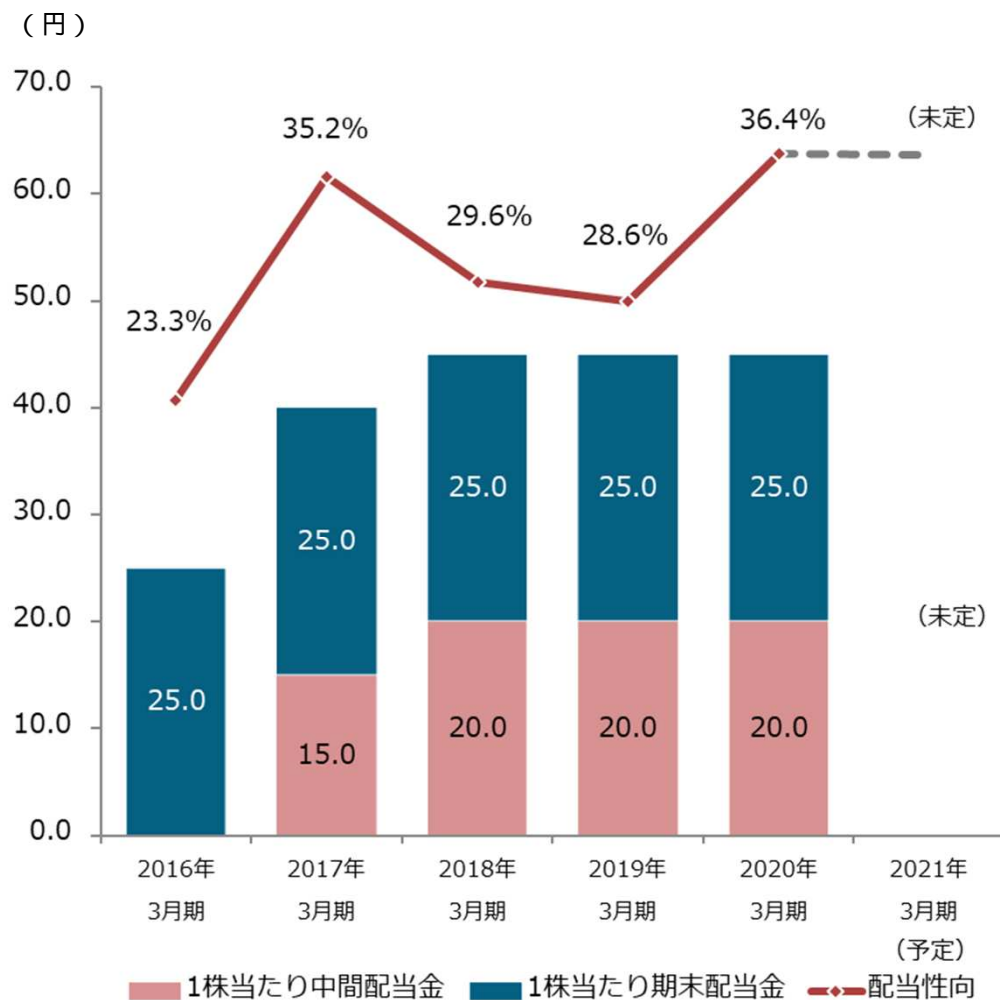
2020年3月期

新開発センターの竣工や子会社工場の新棟建設及び継続的な生産設備の更新等により設備投資は1,755百万円と過去最高水準。

2021年3月期 (予定)

工場棟等の大きな投資はなく、継続的な生産設備の拡充投資を予定。
なお現預金残高の予想については、利益の見通しが困難であるため算定できない状況。

配当予想（株主還元について）



2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

業績に応じた利益還元

- ・ 2020年3月期の1株当たり年間配当金は45円。
中間配当20円、期末配当25円
業績予想に対する配当性向は36.4%
- ・ 2021年3月期の1株当たり年間配当金は、利益の見通しが立てられないため、現時点では未定。
- ・ 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、1単元（100株）以上を保有する株主様を対象にオリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を追加で贈呈。

參考資料



日進工具の概要 (2020年3月31日現在)

商号	日進工具株式会社 (NS TOOL CO.,LTD.)
創業	1954年(昭和29年)12月
本社	東京都品川区大井1-28-1 住友不動産大井町駅前ビル6F
資本金	4億4,290万円
代表者	代表取締役社長 後藤 弘治
従業員数	単体:211名、連結:338名
事業内容	超硬エンドミル(切削工具)の製造・販売

沿革・業績推移

← 第1次成長期 → ← 第2次成長期 → ← 現体制 →

売上高27.1億円、経常利益3.3億円 達成

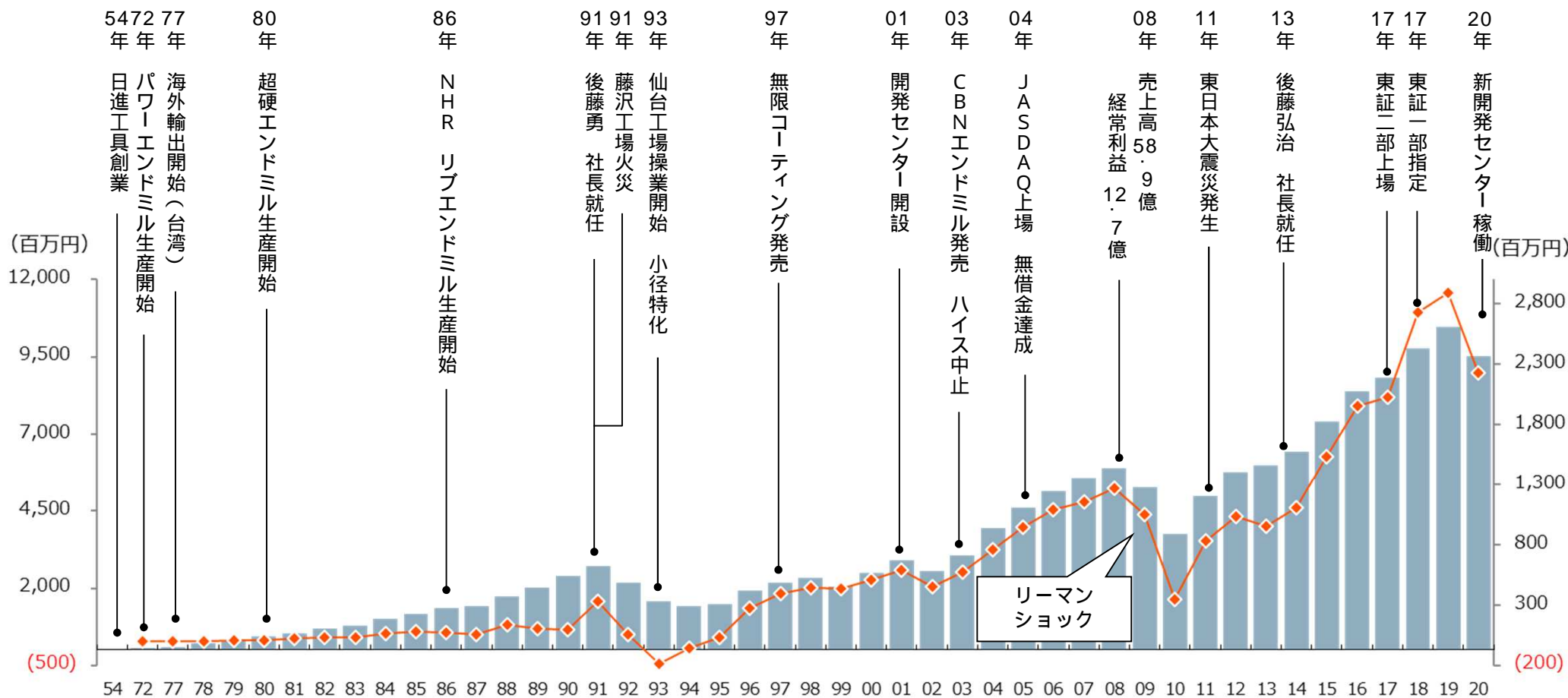
売上高58.9億円、経常利益12.7億円 達成

13年4月就任

後藤 弘治

後藤 進二

後藤 勇



当社製品（超硬エンドミル）について

エンドミルとは、外周部と底部に切れ刃を設け、工作機械（マシニングセンタ）に取付け回転させることにより、金属等の加工を行う切削工具の一種。

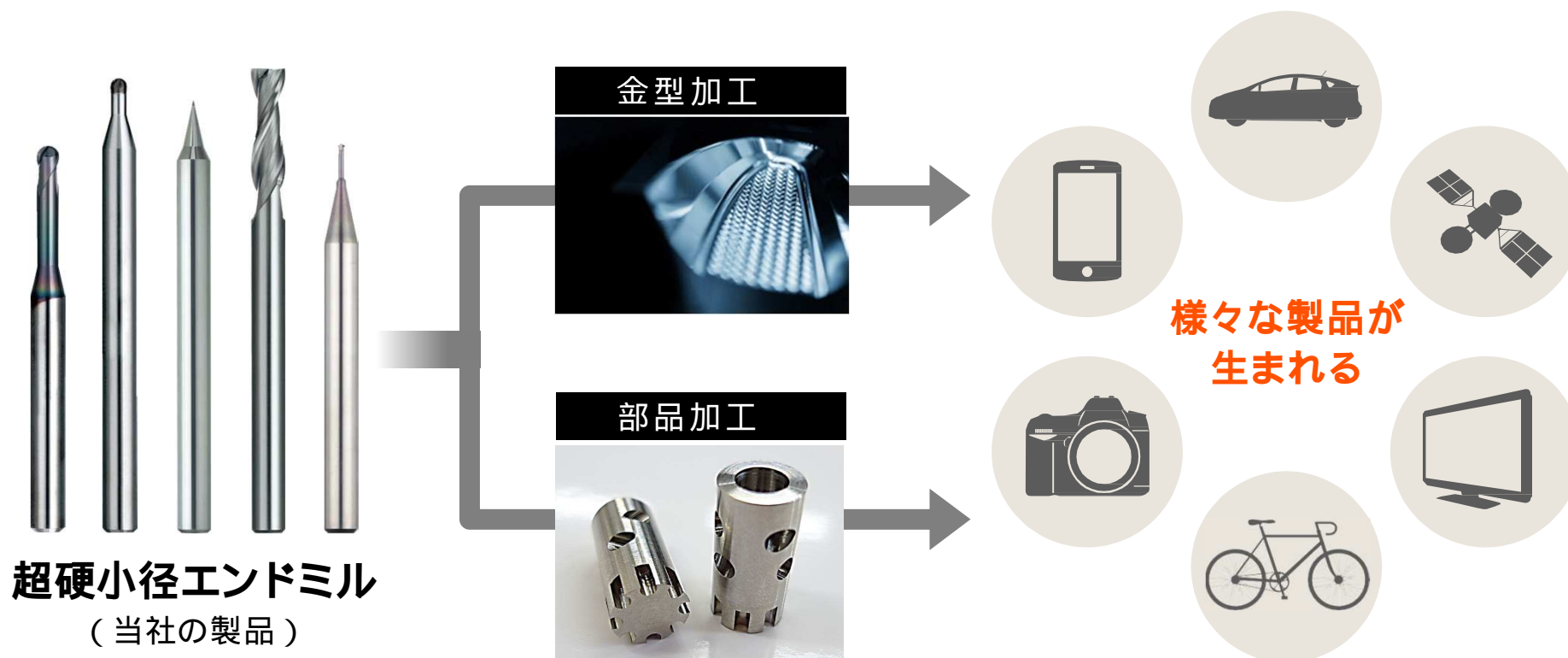
従来はハイス（高速度工具鋼）製が主体であった。

ハイスより硬い超硬合金（炭化タングステンとコバルトの焼結体）を使ったものが超硬エンドミル。



超硬エンドミルの用途

超硬エンドミルは、金型や金属部品等の切削加工に用いられる。
当社では、刃先の直径が6mm以下となる小径エンドミルに特化しており
(数量ベースで約90%)、主に高い精度が要求される精密金型や微細部品等の
加工に使用されている。



当社のビジネスモデル

ニッチトップ戦略

小径エンドミルに経営資源を集中することにより、企業規模は小さいが、市場でのトップシェアを獲得。

Made in Japan

日本製の素材を使用し、国内で生産。自動化や生産拠点の集約により高品質な製品を効率的・安定的に生産。

技術営業・開発営業

ユーザーの製品開発段階から入り込み、加工ニーズに合った提案営業を実践。

これらの推進により競争優位性を保ち、強固な財務基盤と高い収益力を確保。

日進工具 3つの強み



01

生産力

高品質製品を安定的に供給

自社開発機による自動化の推進
他社が追随できない生産性を誇る

高付加価値に特化



03

販売力

小径エンドミルではトップクラスのシェア

精密・微細加工を主とした加工技術提案
海外でも認知度がアップ



02

開発力

超モノづくり部品大賞等を受賞

高付加価値・次世代製品への取り組み
カギは製品の高精度化と長寿命化

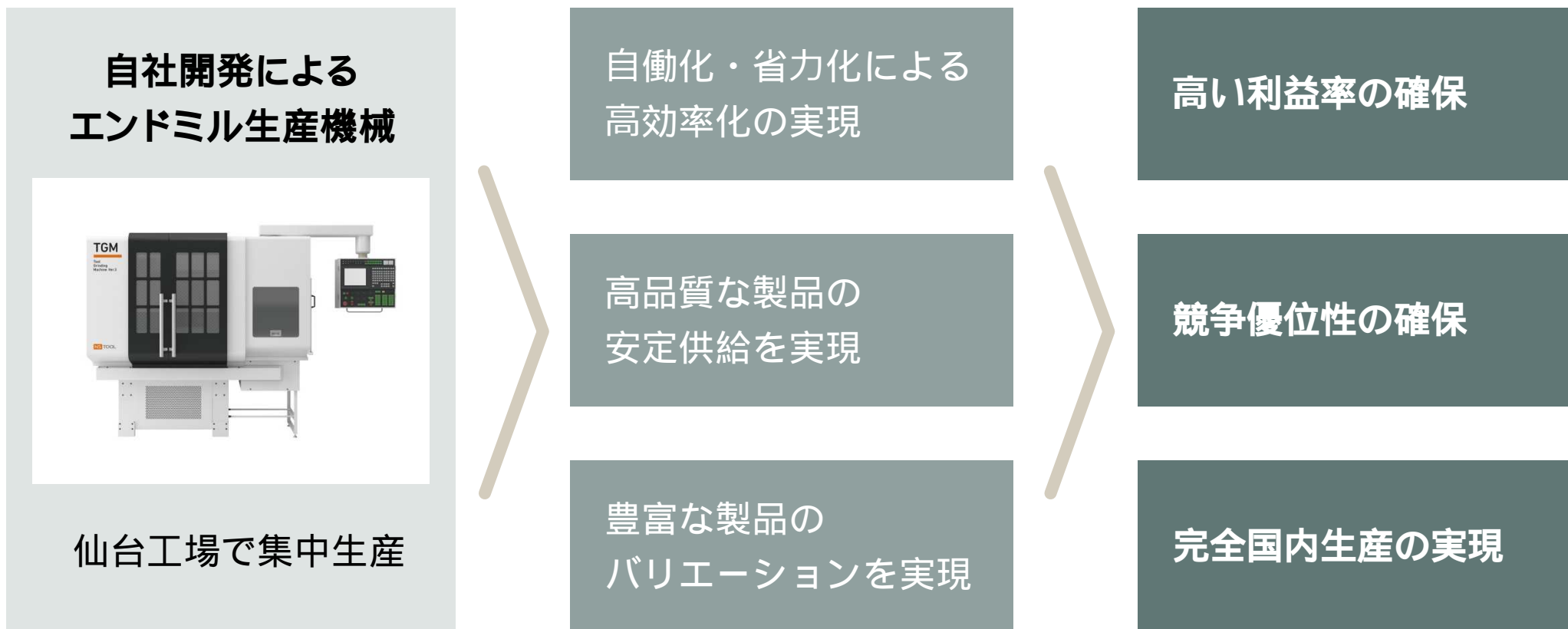
財務体質

強固な財務基盤と高い収益力

有利子負債 ゼロ

経常利益率 23.4% (2020/3期)

自社開発機による自動化（圧倒的な差別化）



Made in Japan の徹底

新開発センター

所在地：宮城県黒川郡大和町松坂平2-8

構造：鉄骨造2階建（免震構造）

延床面積：2,859m²

建設費用：約1,300百万円

稼働開始：2020年3月

内容：1F 事務所、切削加工室、研削室、
測定室

2F セミナールーム（150名収容）
食堂、応接室、会議室、
予備スペース



- 耐震構造は建物は守れても、建物内の機械設備は守れない（東日本大震災の際に、耐震構造を採用した工場棟における機械設備の被害が大きかった。）が、一般的な免震機構では微少な振動が発生し、精密加工には不向きであった。
- そこで、複数の免震装置と“微振動対策ダンパー”を組み合わせた“オールラウンド免震”を採用し、大地震時の安全性・事業継続性の確保と、平常時における超精密加工に支障を生じない環境を両立させた。
- このシステムの有効性評価を行い、今後の自社生産工場に展開することで震災リスクの更なる低減を図るとともに、震災対応を進めるユーザー様へのご提案にもつなげていく。



微振動対策ダンパー



免震装置



オイルダンパー

NSプライベートショー2020

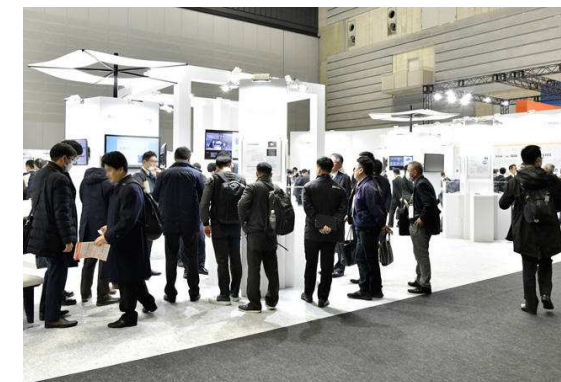
開催日 : 2020年1月29-30日

会場 : パシフィコ横浜

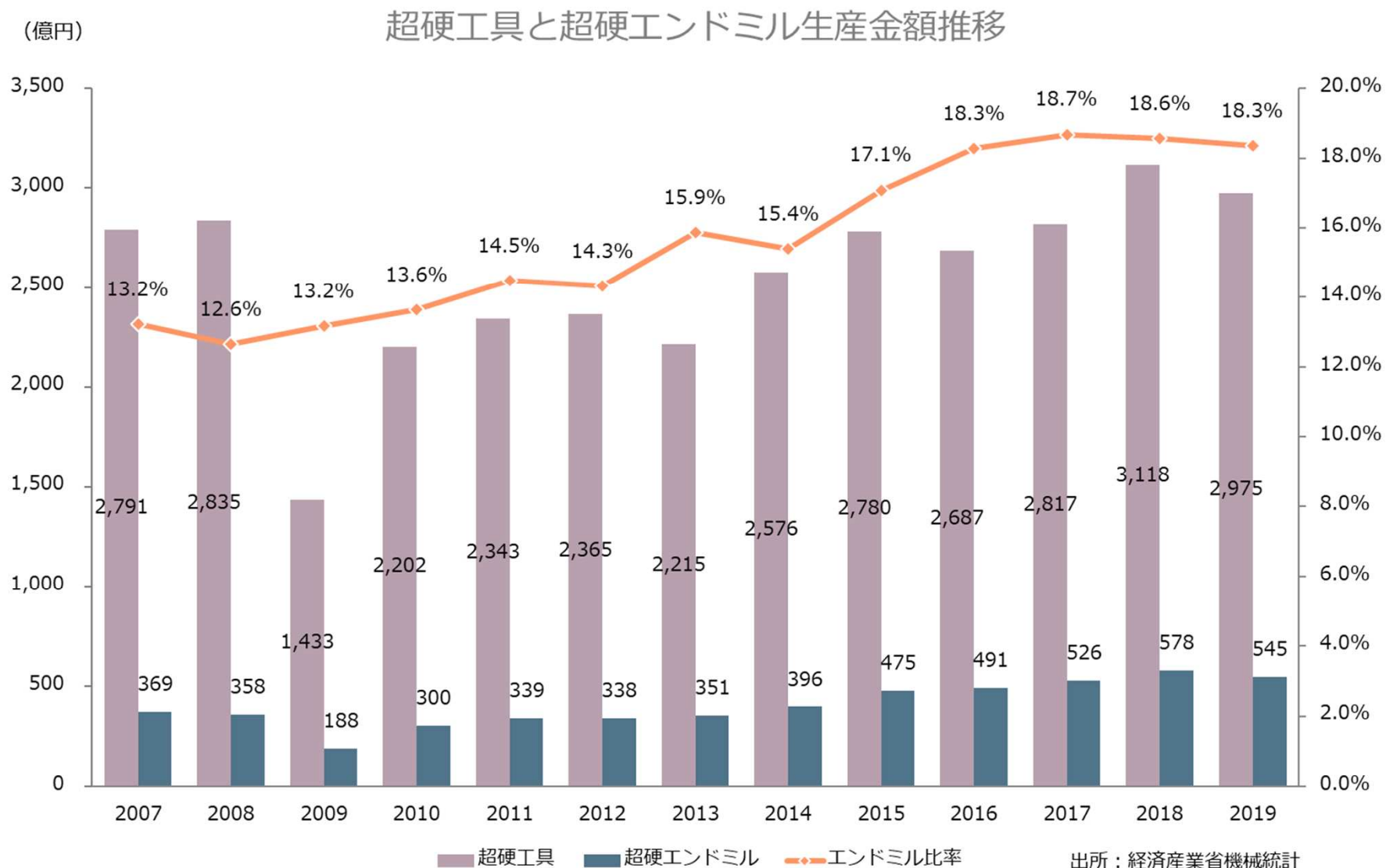
出展企業 : 機械メーカー8社 周辺機器メーカー21社
大学・研究機関8件

来場者数 : 1,358名

- 業界では例を見ない工具メーカー単独主催の展示会「NSプライベートショー2020」をパシフィコ横浜にて開催。
- 工作機械メーカー様やツーリング等の周辺機器メーカー様の出展に加え、大学・研究機関や当社のユーザー様にもワークサンプル等を展示していただき、精密・微細加工に関する様々な情報を発信。
- 既に精密・微細加工に取り組まれている方々に加え、取り組みを検討されている方々にもご来場いただくことができ、ご来場者様、出展者様双方より大変ご好評をいただいたほか、多数の業界紙や新聞等でも詳細に紹介された。
- ご来場いただいた方々へのフォローアップを通じて、新規ユーザーの開拓や当社製品の使用拡大を図る。



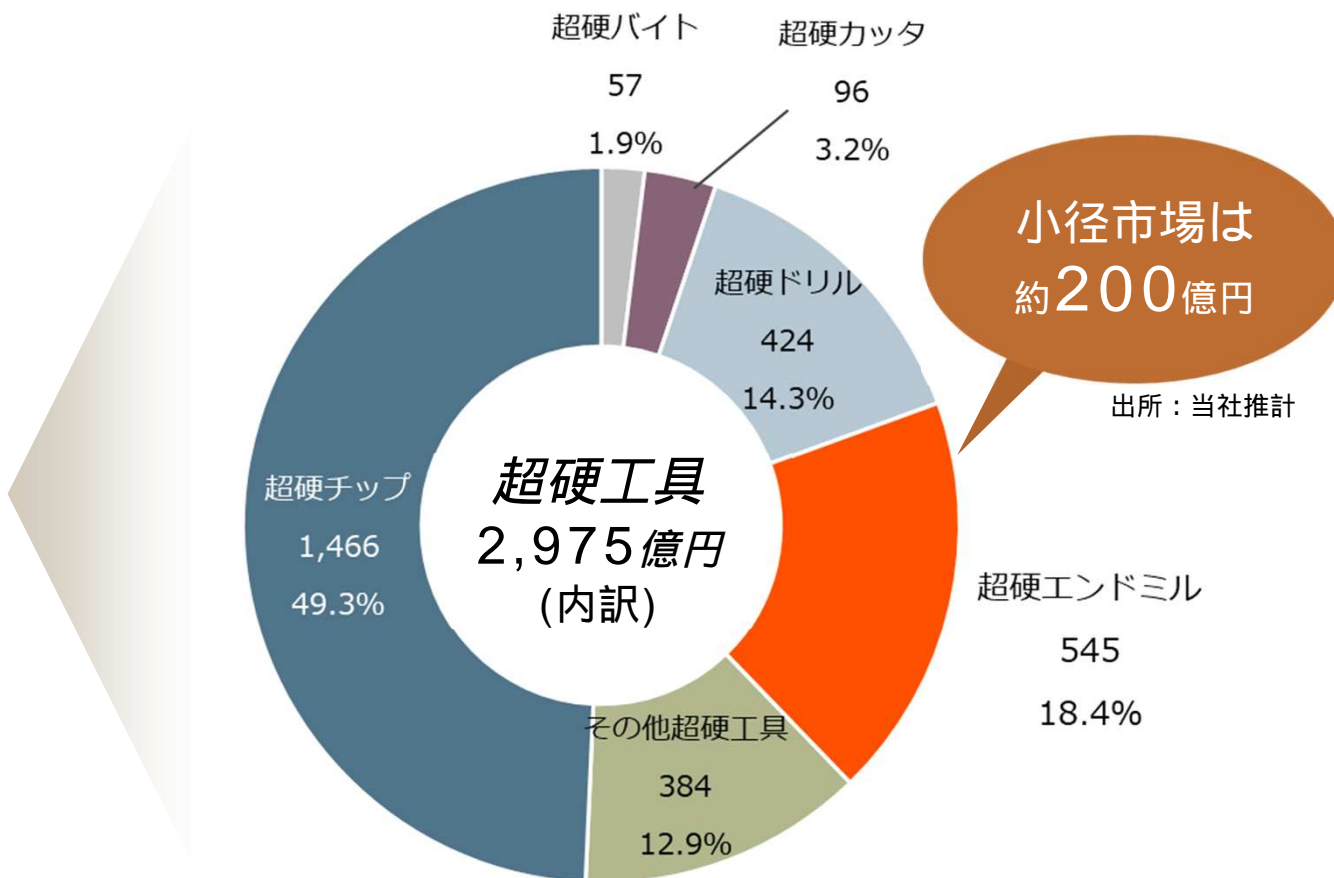
超硬工具と超硬エンドミル市場推移（暦年）



超硬小径エンドミル市場の概況

機械工具生産金額 (2019年)	
総額 4,788 億円	
超硬工具	2,975億円(62.1%)
C(W)BN工具	263億円(5.5%)
ダイヤモンド工具	628億円(13.1%)
特殊鋼切削工具	922億円(19.3%)

出所：経済産業省機械統計

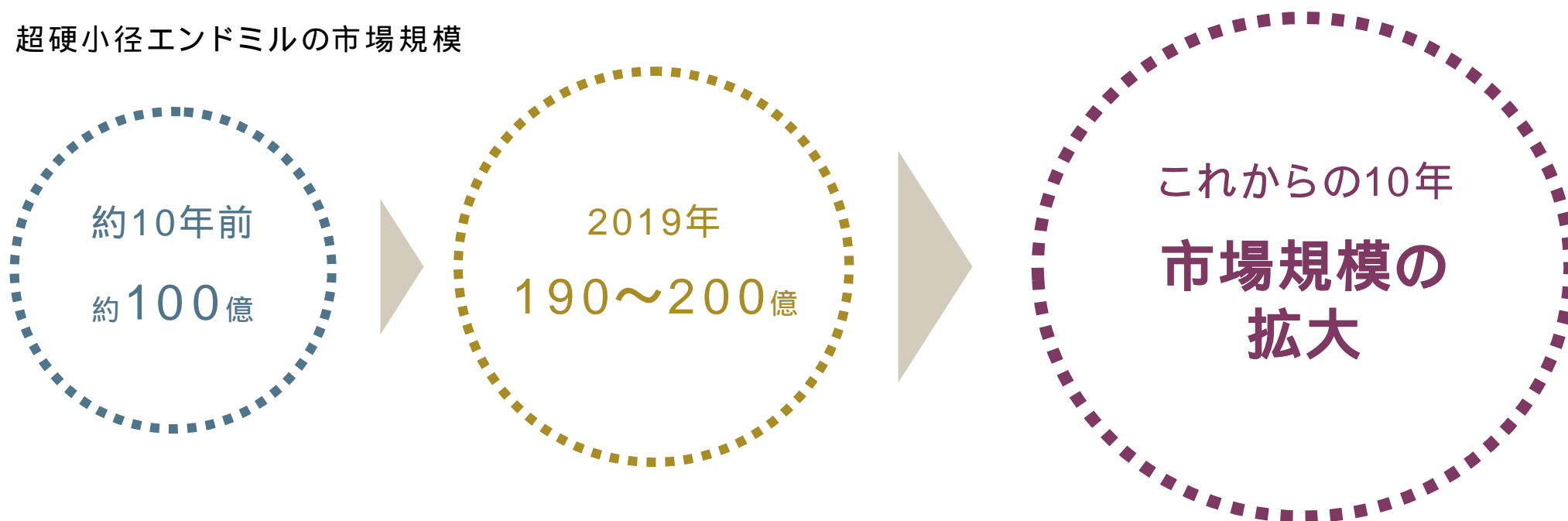


今後の超硬小径エンドミル市場

超硬小径エンドミルの市場規模は、家電のデジタル化や携帯電話の登場により拡大し、ここ数年はスマートフォンの普及、自動車の運転支援機能の高度化等からそのペースを速めている。

今後も、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展とともにAIやIoTの導入が進み、様々な製品にセンサーや通信モジュール等の小型精密部品の採用が増えるとみられることから、それらの生産に欠かせない超硬小径エンドミルも需要拡大が予想される。

超硬小径エンドミルの市場規模



コーポレートガバナンスの体制 (2020年3月31日現在)

形態	監査等委員会設置会社
取締役の人数	8名
うち、監査等委員	4名
うち、社外取締役の人数	3名
社外取締役のうち独立役員	3名
任意の委員会	報酬委員会（社外取締役2名、社内取締役1名で構成）
取締役の任期	1年（監査等委員は2年）
取締役へのインセンティブ付与	株式報酬制度・業績連動賞与 （監査等委員は除く）
執行役員制度	有（現在5名）
会計監査人	監査法人A&Aパートナーズ

グループ会社の概要 (2020年3月31日現在)

連結子会社

株式会社ジーテック

所在地

東京都品川区

事業内容

当社製品の販売



株式会社牧野工業

所在地

本社：福島県白河市
東京事務所：東京都荒川区

事業内容

工具ケースを主力としたプラスチック成形品の製造・販売



株式会社日進エンジニアリング

所在地

本社：宮城県黒川郡大和町
新潟工場：新潟県魚沼市

事業内容

コーティング加工、再研磨、
超硬エンドミルの受託加工（刃径6mm超の製品）



NS TOOL HONG KONG LIMITED

(日進工具香港有限公司)

所在地

中華人民共和国香港特别行政区

事業内容

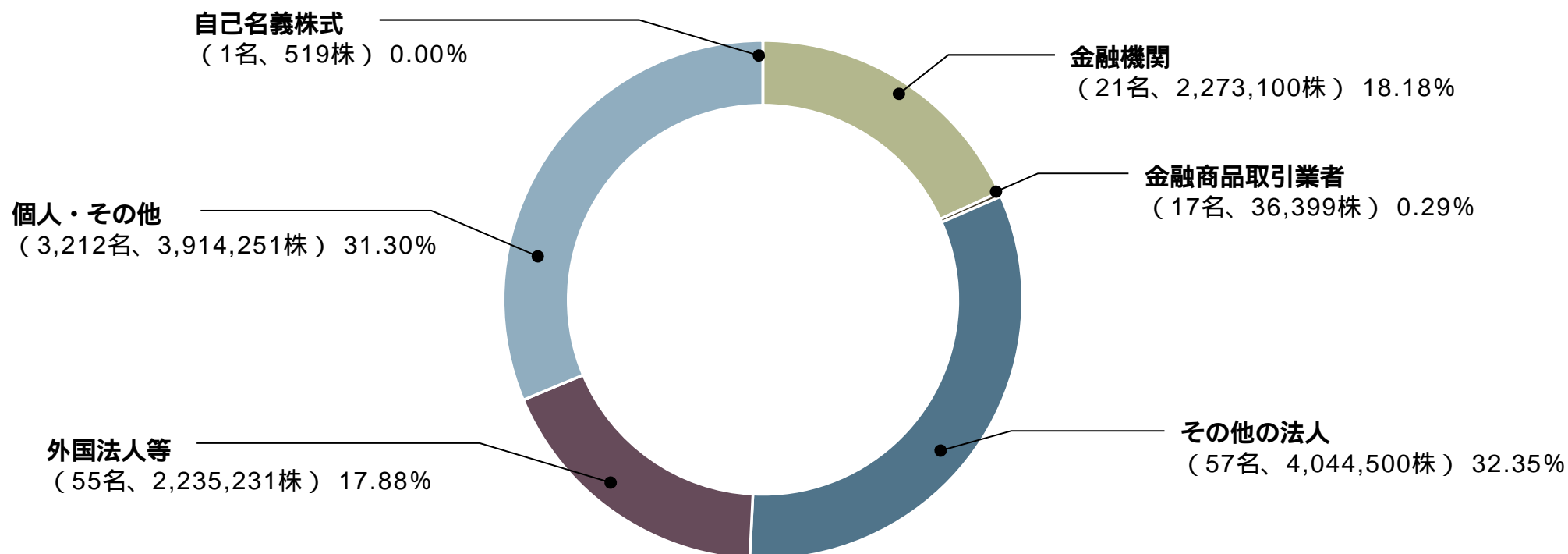
当社製品の販売（香港・中国）



株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	19,200,000株
発行済株式総数	12,504,000株
株主数	3,363名

所有者別株式数分布状況



過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績
売上高	8,382	8,825	9,767	10,476	9,531
営業利益	1,914	2,013	2,695	2,879	2,219
営業利益率	22.8%	22.8%	27.6%	27.5%	23.3%
経常利益	1,954	2,026	2,733	2,894	2,231
経常利益率	23.3%	23.0%	28.0%	27.6%	23.4%
当期純利益	1,342	1,420	1,903	1,970	1,545
当期純利益率	16.0%	16.1%	19.5%	18.8%	16.2%
有利子負債額					
純資産額	9,569	10,666	12,002	13,461	14,498
総資産額	11,371	12,517	14,467	15,381	16,017
自己資本比率	84.2%	85.2%	83.0%	87.1%	89.7%
設備投資額	1,295	774	663	1,268	1,755
減価償却費	505	632	625	629	698
1株当たり配当金(円)	25.00	40.00	45.00	45.00	45.00
従業員数(人)	280	322	338	343	338

2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

投資指標

売上高経常利益率



株主資本当期純利益率 (ROE)



1株当たり当期純利益 (EPS)



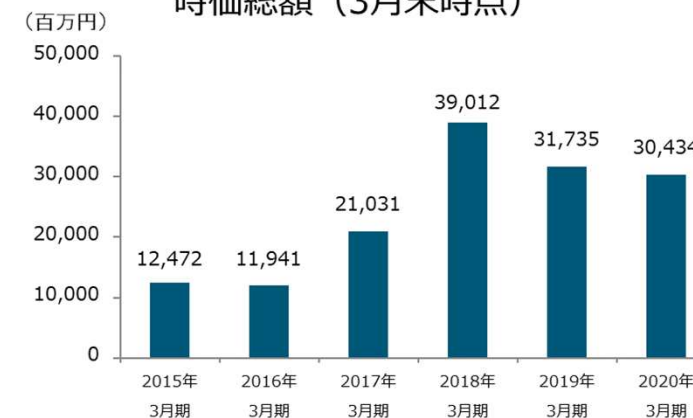
株価収益率 (PER)



株価純資産倍率 (PBR)



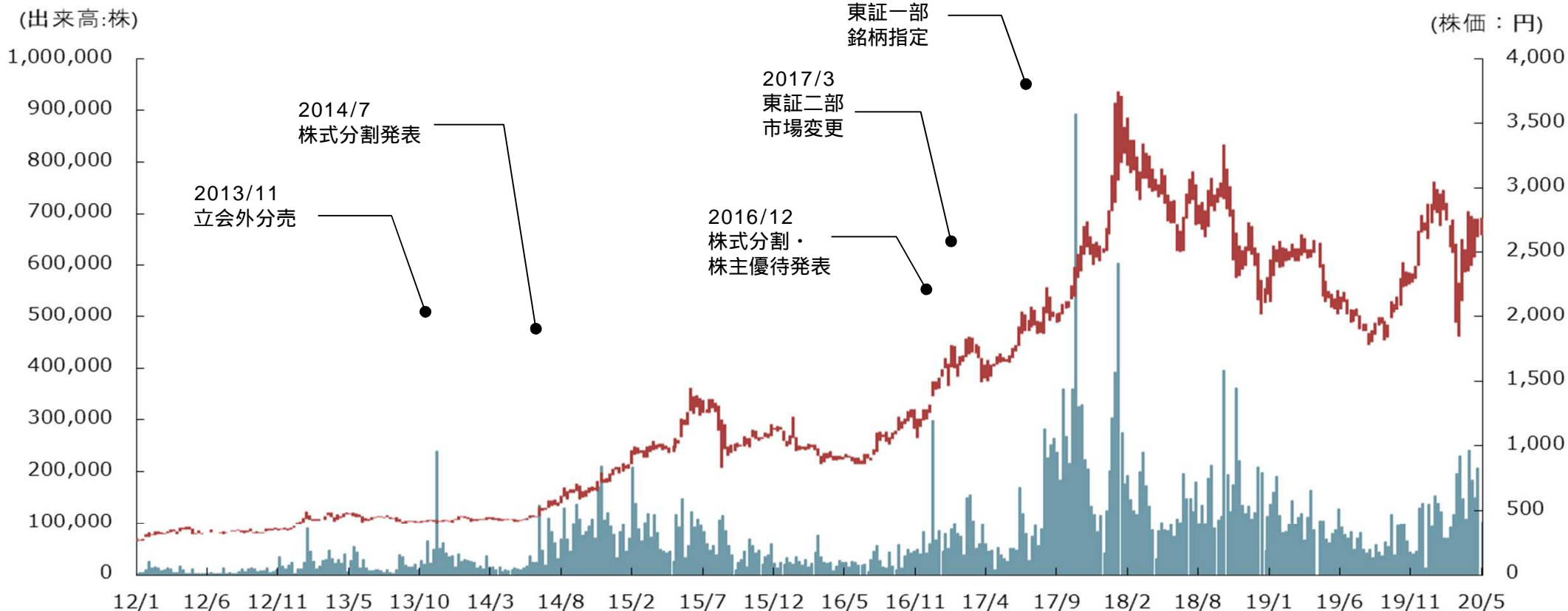
時価総額 (3月末時点)



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2020年5月）



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2020年5月13日現在）

売買単位	100株
時価総額	358億円
ROE (20/3期実績)	11.1%

単元株価格	28万6,900円
PER (20/3期実績)	23.21倍
PBR (20/3期実績)	2.50倍

IR情報サイトのご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The top navigation bar includes 'お知らせ' (News), 'お問い合わせ' (Contact), 'サイトマップ' (Site Map), and 'English'. Below this is a secondary menu with '製品情報' (Product Info), '事例・技術情報' (Cases/Technical Info), '会社情報' (Company Info), '採用情報' (Recruitment Info), and 'IR情報' (IR Info). The main content area features a header with 'Investor Relations' and 'IR情報' (IR Info) with the stock code '東証一部 コード：6157'. The page is divided into three main sections: 'IRトピックス' (IR Topics), 'IRニュース' (IR News), and a right-hand sidebar menu. The 'IRトピックス' section contains a 'NEW お知らせ' (New News) dated 2020.04.30 regarding the cancellation of the analyst meeting, and another 'お知らせ' dated 2020.03.24 regarding an interview article on GEMBA. The 'IRニュース' section contains an 'お知らせ' dated 2020.03.12 regarding an interview article on the Tokyo IPO site. The sidebar menu includes 'IR情報' (IR Info), 'IR情報トップ' (IR Info Top), 'トップメッセージ' (Top Message), '個人投資家の皆様へ' (To Individual Investors), 'IRトピックス・IRニュース' (IR Topics/IR News), 'IRカレンダー' (IR Calendar), '+ 経営方針・体制' (+ Business Policy/Structure), '+ 事業戦略' (+ Business Strategy), '+ 業績・財務情報' (+ Performance/Financial Info), '+ IRライブラリー' (+ IR Library), '+ IRイベント' (+ IR Events), '+ 株式情報' (+ Stock Info), 'よくあるご質問' (FAQ), and 'IRサイトの使い方' (How to Use the IR Site).

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員	経営企画室長	田島	寛
管理部	経理課課長	今関	弘毅
管理部	I R 担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。